

◎平出水への集団学童疎開

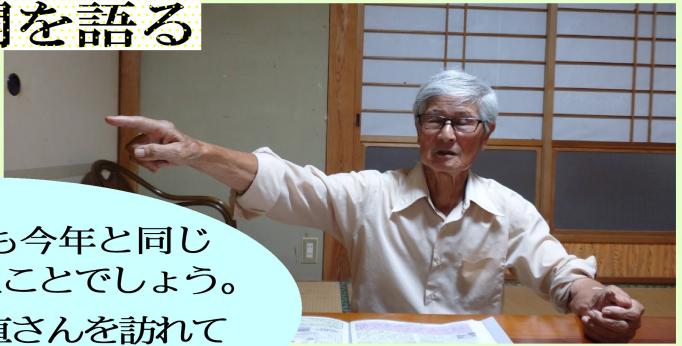
上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

大口平出水への集団学童疎開を語る

第4回 安藤正直さん（89歳）



平出水校区



77年前の夏も今年と同じ
ように暑い夏だったことでしょう。
花里崎の安藤正直さんを訪れて
集団学童疎開のことを
取材しました。

当時小学6年生

集団学童疎開にはどんな思いで出発したのですか？

たぢばな丸ちゅう船が港（旧港）において、大人二人が
はしけの櫓をこいでおいなんどーば、たぢばな丸に乗せたと
や。妹と二人やつたばって、別れんときーにやあ、周りん女
ん衆は泣あてなあ。おいも泣きやーせんにやつたばって、やつ
ぱい涙は出たや。

受け入れ家庭での生活のようすは？

池松さんちゅうおじさんから「あたいは、こん子を連れて
行こかいな、体が太かから。馬の草も食わせんばやから」ちゅ
うて連れて行かれたとや。妹は隣の家やつた。瀬辺ちゅうと
ころは田んぼばつかいで、米のご飯ばつかいやつたろ。横山
ん衆は終戦後は共同生活したばって、理由は分からんばつて
花里崎ん衆は最後まで白かご飯でありがたかったなあ。

妹は百日ぜきでや。咳入ーだいば、怖しかぐらい地べたー

ころ転一で。おいは隣に走って行って背中をさすつ
たい、叩あたいしたろ。治つて、戻つて來たや。

平出水小学校の児童との生活のようすは？

ちご
言葉が違一ろーが。「わいだー、なんごてー
よ」ちゅうて、はが合わんじーな。ケンカし
たとや。花里崎ん衆は花里崎ん衆で遊ーだ。

自宅に無事に帰り着いた時、どんな声を
かけてもらいましたか？

家に戻つて来たいば、ちょうどばあさんの葬
式でけなーん衆が集まつとつた。親から「よう、
戻つてきたなー」ちゅうて抱きしめてもらーちゅ
うことはなかつたなあ。

上西の集落で、共同生活と受け入れ家庭での
生活とに違いがあつたことを初めて知りました。

次回も集団学童疎開の話題をお伝えします。

昭和16年

12月8日

日本軍が真珠湾を攻撃。
太平洋戦争が始まる。

昭和19年

7月17日

種子島内学童疎開計画が
成る。

昭和20年

3月18日

グラマン機やB29が
この日以降7月25日まで
11回も襲撃
死亡者11人、負傷者25人

疎開記念樹の
ソテツ

4月

平出水小学校で

10月

疎開開始
(小2~小6 上西小155名)

疎開学童が帰島する。